



おマメで



緩やかなウォーキング(川路)



地域を歩いて広がる交流

川路地区では9月から11月までの3ヶ月間、「緩やかなウォーキング」が実施されています。歩いた日はチェック表に印を付け、20回達成すると記念品がもらえるというもので、住民の皆さんの心身の健康を願い、健康福祉委員会が企画しました。天竜川沿いに設けられた健康の里ウォーキングコースは、川のせせらぎや四季折々の景色から癒やしを得られるコースとなっています。

9月初旬のこの日は、講師を招いて、ウォーキングを飽きずに長く続けるための正しい姿勢や身体の使い方を学び、1周3kmのコースを皆で歩きました。日差しが強い日でしたが、参加者同士会話をしながら、心地よい汗を流すことができました。

参加者の皆さんからは、「日課だったウォーキングは家族の世話のためにしばらく中断していたが、この機会に再開しようと思う」「普段から犬の散歩はしているが、やっぱり人と一緒に歩くと楽しい」との感想が聞けました。

118号のおもな内容

- 1面 緩やかなウォーキング(川路)
- 2面 赤い羽根共同募金報告
- 3面 特養 飯田荘の紹介
- 4面 作業療法士さんのコーナー
- 5面 あっちゃんの子育てエッセイ
- 6・7面 敬老の日特集
- 8面 敬老の日記念 88年の歴史
- 9面 事業報告・読者のコーナー
- 10面 インフォメーション・おマメでクイズ
- 11面 おマメの部屋
- 12面 飯田市社会福祉大会・地域福祉活動推進研修会

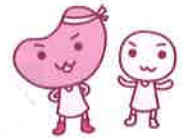


健康福祉委員長 市瀬あつ子さん

記録的な猛暑の夏が終わり、風の涼しさに秋の訪れを感じる季節となりました。この秋は、皆さんも家族や友人、職場の仲間を誘って、地域を歩いてみませんか？



じぶんの町をよくするしくみ



赤い羽根共同募金

今年も皆様の温かいご支援をお願いいたします。

期間 10月1日～12月31日

令和5年度 目標額 **13,000,000円**



飯田市配分計画

共同募金は助成計画を事前に定める計画募金です。今年ご協力をお願いする募金で以下の事業を計画しています。

高齢者のために

4,179,710円

高齢者の集い、敬老会、
ふれあいサロン、健康づくり事業、
敬老の日新聞の発行他



子どもたちのために

1,505,930円

私立保育園・児童養護施設への補助、特別支援学級
設置校への歳末激励金、福祉教育図書整備事業他
(小・中学校に図書購入補助をしています。)

《ありがとうメッセージ 令和5年度実施分》

未満児が使用していた体操マットがボロボロ
になってしまったため、新しい物を購入させ
ていただきました。衛生的なマットの上で飛
び跳ねたり、ゴロゴロ転がったり、まったり
と過ごしたり、様々な用途で使わせていた
だきます。寄付者の皆さまに心から感謝致します。
ありがとうございました。

(私立保育園・体操マット)

障がいのある方のために

468,000円

障がい者交流会、障がい者施設への補助他

《ありがとうメッセージ 令和5年度実施分》

デジタルカメラで日々の様子を撮影し、思い
出の保存をするとともに、動画撮影で様子を
確認しながら、事例検討を職員で行う事で、
より良い支援に繋げることが出来ています。
ありがとうございました。

(障がい児施設・デジタルカメラ他購入)

住民全般の福祉のために

1,198,360円

地域福祉活動の支援、ボランティア団体支援、
ボランティア養成講座、地区広報紙の発行他

※県共同募金繰入 **5,648,000円** (広域的福祉施設・福祉団体へ助成、災害時に備えての積立他)

長野県共同募金配分

安心・安全まちづくり活動支援配分

今年度も、まちづくり委員会など市内5地区の住民
組織団体等が、防災関係の備品等を購入しています。



テントパーティーの購入





特別養護
老人ホーム

飯田荘 ゆとびいいだ



● **特別養護老人ホームとは**、日常生活において常に介護が必要で、ご自宅での生活が困難な「要介護3以上」の方が入居できる介護施設であり、24時間にわたって、介護サービスを提供しています。費用が比較的安いことも特徴です。

☆ **今回は「飯田荘」をご紹介します** ☆

昭和50年6月開設の飯田荘は、平成30年11月に新築移転され、木の温もりに満ちた明るく開放感のある施設に生まれ変わりました。

運営方針

- ・安心して、明るく楽しい生活ができるよう支援いたします。
- ・笑顔と一緒に、ゆったり過ごせる時間を共有します。
- ・自分らしく、自由な時間を提供させていただきます。



☆ **年間通して利用者様に楽しんでいただけるような行事を、チーム会が中心になって計画しています。**

5月には、飯田動物園へ新緑ドライブにお出かけしました。コロナ発生以来、数年ぶりの野外行事とあって興奮気味の皆さん、かわいらしい動物たちとのふれあいの時間に、思わず笑顔がほころびました。



8月に行われた夏祭りでは、荘内でお祭り気分を楽しんでいただきました。

ヨーヨー釣りで大盛り上がり！

テラスで足湯も、とても心地よく大満足の様子。

たくさんの笑顔をいただき、職員も共に楽しい時間を共有できました。

新型コロナウイルスの国内感染から早や3年半が経ち、未だ衰えを知らない感染力から高齢の利用者様を守るためにも、面会時間や方法の制限など感染防止対策に十分な配慮が必要となっています。感染症5類に移行した今、創意工夫のなかで、利用者様にとって最も大切な精神面のケアを担われるご家族様と共に介護・看護・給食など他職種のスタッフが連携して、「自分らしく生きる」利用者様に寄り添いながら、笑顔でお過ごしいただけるよう努めてまいります。

作業療法士さんが
考えた



季節の変わり目に...

食べて体をいたわりましょう

今年も残すところ2ヶ月となりました。厳しい残暑が終わり、やっと涼しくなってきたと思ったら、もう冬が目の前です。11月8日は二十四節気の“立冬”です。季節の変わり目でもあり、体調が不安定になる時期でもあります。今回は、長野県の特産でもあるりんごの料理をご紹介します。りんごは加熱することで栄養が高まるともいわれています。

ここに注目

- ・りんごはできれば皮ごと使いましょう。(皮が食べにくい方は無理をしないでください)
- ・りんごは100度以上で加熱することで、栄養が高まるといわれています。しっかり煮込んでください。電子レンジではなくできれば鍋で料理をしましょう。
- ・常に火加減に注意をしながらこげないように注意してみてください。
- ・煮込んだりんごをきれいに盛り付けてみましょう。写真のようにお花にもチャレンジしてみてください。

道具

- ・包丁、まな板
- ・盛り付け用の器(透明なお皿や、ワイングラスなど使用するとおしゃれに見えます)

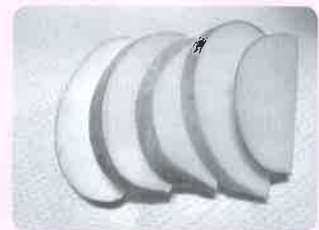
材料 (2人分)

- ・りんご：1玉(200グラムくらい)
- ・砂糖(あればグラニュー糖)：40～50グラムくらい
- ・レモン汁(なくてもOK)：5mlくらい



作り方

- ①りんごの芯をとり、薄くきる(サイコロ状でも良いです)
- ②鍋に、切ったりんご、砂糖、レモン汁を入れて、煮込む。
強火で煮込み、沸騰したら弱火で水分がなくなるくらいまで(またはりんごがしんなりするまで)気をつけながら煮込んでください。
- ③完成！ ですが、今回は盛り付けに凝ってみましょう。
写真にあるように、きれいに並べてみたり、煮たりんごをずらしながら並べて巻くことでお花のようにもできます。
ぜひチャレンジしてみてください。



あっちゃんの
子育て
エッセイ

ひとねる、ひとなる



手仕事

手仕事は子どもの頃から好きでした。最初に教わったのはかぎ針編みで、お師匠は祖母（…とはいえ、鎖編みであやとりを作る程度のものでしたが）。

時は経って、手仕事好きが生かされる時期がやってきました。それは多くのママたちが通る保育園の袋づくり！コップ袋にお弁当袋、そして長方形のハンカチ。子どもたちが通った保育園では、彼らが着るスモックにループが付いていて、そこにハンカチを引っかけて安全ピンでとめるというスタイルでした。もちろん市販のハンカチを半分に折って使ってもいいのですが、それも味気ないと思い、ダブルガーゼを使って自分で作ってみることにしました。ハンドメイド上手なママ友の真似っ子です。

ダブルガーゼは、子ども向けから大人女子向けまで柄が色々あります。最初は子ども向けに作りましたが、麻混の風合いの良いダブルガーゼがとても気に入って、自分の分も自作しました。簡単なので、ぜひ挑戦してみてください。

自分で作る



ガーゼのハンカチ

ダブルガーゼは、給水力がしっかりありながら乾きやすいので、とっても便利！また、いろんな柄があるので、選ぶ段階からワクワクします。

(材料) 15 cm四方のハンカチ1枚

- ダブルガーゼ 17 cm四方の正方形 2枚
- タグ (あってもなくても)
- 縫い糸



タグは 100 円ショップやネット販売でも購入できます。なくてもいいけど、あるとワンランク上がった感じになります！

(作り方)

- ① ダブルガーゼは水通しをしてから裁断する。同じ柄にしても良いし、違う柄を合わせて楽しむのもおすすめ。
- ② 裁断したダブルガーゼを中表にし、タグをつける場合は挟みながら待ち針を打つ。
- ③ 返し口を 4 cmほど残し、ぐるりと縫う(縫い代 1cm)。
- ④ 返し口からひっくり返してアイロンで形を整え、返し口をコの字はぎでふさいで完成!

謹んで敬老の日をお祝い 申し上げます

～米寿を迎える皆様の元気の秘訣を紹介します～

令和5年度 飯田市内の長寿者の方々
 ○ 88歳……726名
 ○ 100歳……65名
 ○ 101歳以上…127名 ※7/31時点の調査に基づく

「いつまでも生活に張り合いを」

原澤 ナヲミ 様 (88歳) 山本地区

「空いている土地があれば豆を撒いたり、岩塩を煮て塩を取ったり、そうして味噌や醤油を作ったの。」と幼少期の生活を思い返す原澤さんは、阿智村伍和でお生まれになりました。忙しいご両親を手伝おうと、蚕部屋の掃除をしてから学校に行くのが毎朝の日課でした。終戦を迎えると、次第にお正月の行事や同級生とキャンプができるようになったそうで、「戦時中とは天と地ほどの違いで、みんな生き生きとったよ。」と懐かしそうに話されました。



中学校卒業後は先生とご両親の勧めで、当時開校した阿智高校へ進学されました。裁縫が得意で、お父様の着物を解いて染め直し、自身でセーラー服に仕立てて通学されたそうです。卒業後は保母として、多くの子どもたちに囲まれながら働いてきました。思い出のアルバムを開くと、当時の記憶が蘇ります。



ご結婚を期に、山本の専業農家へ嫁がれたのは60年以上前のこと。農作物の栽培実績をノートに記録しながら、ご主人と共に農家の経営を支えてこられました。現在は娘さんご夫婦が、新たな農業の試みを加えながら、その手腕を受け継いで経営されているそうで、それをとても嬉しそうに話してくださいました。「できることはやろう、という気持ちが元気の秘訣。」と清々しい表情を浮かべる原澤さんは、今でも娘さんたちと一緒に農作業をしています。ご自宅の前に広がる農業用ハウスには、赤々と照り輝く美味しそうなたまごがたくさん実っています。

「情熱と志を持ち続けて」

山崎 昭文 様 (88歳) 上村地区

上村上町にお住まいの山崎さんは、馬宿と農業を営むご家庭で育ちました。明治時代に建てられた趣あるご自宅は、当時秋葉街道の宿場として大変栄えたそうです。「働く両親の背中を見ると、手伝いをするのはちっとも苦にならなかった。」と幼少期を振り返ります。



学校卒業後は、地元役場の勤務を経てJAに就職。若くして役員を担い、地域の様々な農業問題と向き合ってきました。戦後、養蚕業が衰退しはじめる中で、新しい野菜作りの推進や、採りたてで新鮮な収穫物を市場に届ける運搬路の必要性について声を上げ、農業収入が得られるよう働きかけてきました。そんな山崎さんの熱い思いと実践が理事者の支持につながり、35歳から村議会議員として5期20年、その後は村長として村政に尽力されました。「あの頃は農業について訴える人は少なく、農業分野を支援してもらいたい思いから決意したんです。」と語ってくださいました。

一線を退いた後は「健康と地域の交流が大切」との考えに至り、高齢者クラブの活動やお祭りをはじめとする文化伝承に注力されてきました。地域の仲間同士で生き生きと活動することに喜びを感じると同時に、先輩方のお話を聞くことが人生の大切な学びになるそうです。

お付き合いの広さから、毎年の年賀状は200枚を超え、その全てに添え書きをされています。仕事に役員にと多忙な時期を振り返られる中で、「家庭のことは妻に任せっきりで、まさに内助の功です。」と、奥様への感謝を言葉にされていたのがとても印象的でした。

「笑顔をやさずに」

湯澤 和美 様 (87歳) 座光寺地区



根羽村出身の湯澤さんは、8人兄弟の4番目としてお生まれになりました。お父様が電力会社に勤務していたため、物心ついた頃から事務所を兼ねた社宅で暮らし、電気の恩恵を間近で感じながら育ったそうです。「あの頃は家で電球が切れると、子どもが学校帰りに買いに来てたんだよ。」と、当時の様子を話してくださいました。

学校卒業後は、地元のJAで金融の事務員として働き始めました。当時はボールペンが一般的でなく、インクを染み込ませて使うガラスペンが主流だったなど、懐かしい記憶を思い起こしながら当時のことを話してくださいました。

同じ職場で営農技術員として働いていたご主人と出会い、縁あってご結婚。その後はご主人の転勤で南信地区を回り、子育てに仕事にママさんバレーにと、忙しく過ごされていたそうです。

ご主人の生家に戻った後は、保健指導員として地域の健康推進の一役を担いました。当時のメンバーとは今でも交流が続いており、定期的に食事会に出かけるのが楽しみになっています。

「人と話すことはいいことだよ。生きていれば悲しいときもあるけど、よく笑うようにしとるの。」と、晴れやかな笑顔を向けくださる湯澤さん。前向きなお言葉が、ご家族や周りの方々に元気を届けているのだと実感しました。



「これからもずっとこの家で」

櫻井 ふじ子様 (88歳) 丸山地区



「まさか88歳まで生きられるなんて。」と顔をほころばせる櫻井さんは、13人きょうだいの12番目として、根羽村の造り酒屋で育ちました。子どもの頃は、友人と石けりや縄跳びをして遊ぶ、活発な女の子でした。

若い頃は、村の青年会の人たちと演じる村歌舞伎が楽しみだったそうで、「かかさま…」と、当時の台詞を張りのある声で披露してくださいました。昔はどの村も芝居や歌舞伎が流行り、村民の娯楽の一つとして地域で親しまれていたそうです。

20代になり、裁縫を習いに飯田市へ出てきた頃、大工見習いとして修行中だったご主人と出会われました。その後は専業主婦として、子育てをしながら家庭を支えてこられました。

「まだまだ頑張りたいと思うの。目標は100歳。」と満面の笑みを向けくださる櫻井さんですが、一時は思うように声が出なくなったことがあったそうです。今は声を出すことと歌を歌うことを、日頃から大切にされています。

これからも、ご主人が建てた愛着のあるご自宅では、ご夫婦の掛け合いと笑い声が響くことでしょう。



取材を快く受けてくださったご長寿の皆様、ご家族の皆様、本当にありがとうございました。これからも皆様がいっそうお元気で、ご活躍されることを願っております。

敬老の日記念 88年の歴史

今年88歳を迎えられた皆様の歩みとともに、世界・日本・飯田での「できごと」を紹介します。

年齢	年	世界・日本のできごと	日本の総理大臣	流行歌や 流行したモノ	飯田市のできごと
0歳	1935 昭和10	NHKラジオ放送10周年	岡田啓介	♪船頭可愛いや ／音丸	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>同じ年に生まれた有名人</p> <p>美輪 明宏 (歌手・俳優) 5月15日</p> <p>吉行 和子 (女優) 8月9日</p> <p>小澤 征爾 (指揮者) 9月1日</p> <p>浜 木綿子 (女優) 10月31日</p> </div>			
10歳	1945 昭和20	第2次世界大戦終戦	小磯国昭 鈴木貫太郎 東久瀨宮稔彦王 幣原喜重郎	♪リンゴの唄 ／並木路子	
					◆飯田の大火 ◆飯田市社協発足 ◆りんご並木植樹開始
20歳	1955 昭和30	GDP(国内総生産)が戦前を上回る(もはや戦後ではない)	鳩山一郎	三種の神器 (家電)	
					◆座光寺村・松尾村・竜丘村・伊賀良村・山本村・三穂村・下久堅村と合併 ◆川路村と合併 ◆三六災害 ◆竜江村・千代村・上久堅村と合併
30歳	1965 昭和40	いざなぎ景気 (~1970までの好景気)	佐藤栄作	ツイスター (玩具)	
					◆皇太子御夫婦(現上皇御夫婦)がご来飯
40歳	1975 昭和50	日本人女性がエベレスト登頂 (女性世界初)	三木武夫	♪昭和枯れすゝき ／さくらと一郎	
					◆人形劇カーニバル飯田が開始 ◆鼎町と合併
50歳	1985 昭和60	日本航空123便墜落事故	中曽根康弘	ファミコン (ゲーム機)	
					◆上郷町と合併
60歳	1995 平成7	阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件	村山富市	♪LOVE LOVE LOVE ／DREAMS COME TRUE	
					◆いいだ人形劇フェスタが開始
70歳	2005 平成17	日本国際博覧会 (愛・地球博)	小泉純一郎	♪青春アミーゴ ／修二と彰	上村・南信濃村と合併
					◆日本初のラウンドアバウト式交差点誕生
80歳	2015 平成27	ラグビーW杯で歴史的勝利	安倍晋三	火花 (小説)	市役所新庁舎完成



マメ太郎

事業実施報告



マメ子

もぐもぐさぽーたー活動のご報告

「もぐもぐさぽーたー」は市内在住のひとり親家庭45世帯(R5.8現在)が会員登録をしており、フードドライブ事業で皆様からご寄付をいただいた食品をお渡しし、食品ロスを無くす取り組みを行っています。(現在新規会員登録は一時中断)

また第二飯田荘からは、企業様からご寄付いただいたものを活用して調理したお惣菜や、調味料等を小分けにしてお渡しをしています。

8月の活動は、食事提供等で子育て支援を行っている団体『もぐもぐキッチン・ララ・ランチ』さんと個人ボランティアさんにご協力をいただいております。お弁当を作り、お渡ししました。

もぐもぐさぽーたー一会員からは「とても助かっています。無駄にしないよういただきます。」「週末のへとへの時に第二飯田荘さんからおかずをいただけるのが本当にありがたいです。」「お弁当、嬉しかったです。ご飯の支度と片付けの時間がない分、子どもと遊んだり、話をしてゆっくりと一緒の時間を過ごせました。」などの感想をいただきました。

市民の皆様や企業様にはこの物価高騰の中、フードドライブへご寄付をいただき大変感謝しております。今後も「もぐもぐさぽーたー活動」の支援につながるフードドライブにご協力をいただければ幸いです。



食料品のお渡しの様子



お弁当作りの様子



野菜のご寄付をいただきました



読者のコーナー

高齢者になったら誰もがどんな形であれ介護サービスを受けるようになります。人生の最後をどのような形で迎えるかは、人それぞれですが、いろいろと参考にさせていただきます。(70代 女性)

皆様からお寄せいただきましたハガキ・メールの中から、117号の感想を一部抜粋してご紹介します！

第二飯田荘30周年を迎えられるんですね。おめでとうございます。特養のお世話にならず、すーっと逝けたらと思っておりますが…。こればかりはわかりません。「終の棲家」として選択した時はよろしく願います。(70代 女性)





インフォメーション



参加者募集

災害救援ボランティア養成講座

飯田市内にて大規模災害が発生した際、災害救援に関する専門的な知識をもって救援活動に参加できるボランティアの養成を行うことを目的に開催します。

【日 時】

- ① 10月28日(土) 9:00～13:00
- ② 11月11日(土) 9:00～17:00
- ③ 11月19日(日) 9:00～16:00

【場 所】 さんとぴあ飯田 第1・2 講習室

【定 員】 20名

【参加費】 無料



おマメで健康教室

申込不要
参加無料

地域の皆さんの自主的な介護予防活動を応援するため、毎月1回健康教室を開催しております。

日 時：毎月1回午前10時00分～11時00分 (60分)

会 場：さんとぴあ飯田 3階 第1・2講習室

月/日	内 容	月/日	内 容
11/6(月)	指体操(手工芸)	2/5(月)	フレイル予防体操
12/4(月)	フレイル予防体操	3/4(月)	フレイル予防体操
1/10(水)	オーラルフレイル		

体操のできる服装、筆記用具、飲み物は各自でご用意ください。

問い合わせ：飯田市社会福祉協議会 TEL.0265-53-3182



実際の教室の様子



ちょっと
一息

「おマメで」クイズ



社協報「おマメで」118号の中からクイズです。答えと右記の要項を添えてぜひご応募ください。クイズに正解された方の中から抽選で5名に図書カードをお贈りします。

1. 令和5年に88歳になられる方は昭和何年生まれでしょうか？
(ヒント：8面)
2. 12月9日(土)に開催の「飯田市社会福祉大会」は今年第〇〇回
でしょうか？ (ヒント：12面)

応募要項(ハガキで応募される場合)

63	〒395-0024	①クイズの答え
	飯田市社協 「おマメで」編集委員会 行	飯田市東栄町三〇八一
		②住所
		③氏名 ④年齢
		⑤電話番号
		⑥「おマメで」の感想

ご応募締め切り 10月末日

＜メールでの応募方法＞ (2通りあるよ!)

- ① omamede@iidashakyo.or.jp
にメールを送信!
- ② 当社協のホームページから応募!
おマメでクイズに参加してね

119号の誌面にてクイズの答え・当選者の発表を行います。

※ご応募の際にいただいた個人情報はプレゼント発送以外には使用いたしません。

※匿名表現でご感想を次回号に掲載させていただく場合がございます。ご了承ください。

117号のクイズの答え 「特別養護老人ホーム」

当選された方

- ・栗田 歩様 (丸山)
- ・小木曾美里様 (龍江)
- ・折山 君江様 (竜丘)
- ・小笠原綾香様 (竜丘)
- ・吉川富喜子様 (伊賀良)

多くのご応募ありがとうございました!



マメ太郎 マメ子 おマメで体操 イメージキャラクター





各情報の申し込み・お問い合わせは…
 飯田市社会福祉協議会
 (飯田市ボランティアセンター)
 電話 0265 - 53 - 3182
 FAX 0265 - 53 - 3183
 H P <https://iidashakyo.or.jp>

～各種教室・講座・事業のご案内～

障がい者 趣味教室

＜7月8日(土) ガラス絵の具教室＞

市内の障がいがある方を対象にした趣味教室を開催しました。

今回は小学生から大人まで幅広い年齢層の方の参加があり、終始にぎやかな雰囲気で作品作りができました。参加者からは「初めてやって難しかったけど、とても楽しかった」など感想をいただきました。

次回は10月28日(土) 10:00～13:00
料理教室

12月16日(土) 13:30～15:00ゼリーキャンドル教室を開催します。ぜひご家族・ご友人をお誘いの上、ご参加ください。



フレイル予防サポーター養成講座

＜6月21日(水)・6月26日(月) 実施＞

住民の方が主体となって公民館等で開催されるフレイル予防教室(通所型B事業)の運営を担う“フレイル予防サポーター”を養成する講座を行いました。フレイル予防に関する基礎知識や口腔ケアについての講義をはじめ、救急法や体操、レクリエーション等の技術を学んでいただきました。

参加者の方からは「どの講義もとても勉強になり、充実した2日間でした。人生を考えた時、今の自分にできることは何かを考えるきっかけにもなりました。楽しみを提供できる・共感できることはとてもステキな事だし、自分もその手助けを少しでもできたらと思います。」など感想をいただきました。サポーターの皆さまの思いが今後の地域活動に繋がっていきますようこれからも応援させていただきます。



フードドライブご寄付のお礼

(順不同・敬称略)

【企業】

- ・竹村工業(株)
- ・旭松食品(株)
- ・飯田信用金庫
- ・(株)ふくやま
- ・長野銀行
- ・八十二銀行



【団体】

- ・(福)萱垣会
- ・南信濃自治振興センター
- ・鼎中平地区(納涼祭)
- ・鼎上山地区(納涼祭)
- ・更生保護女性会
- ・飯田地区労働者福祉協議会
- ・富士山稲荷神社
- ・龍江民生児童委員協議会
- ・龍江地域づくり委員会
- ・伊賀良自治振興センター
- ・座・女子力

※飯田下伊那地域にお住まいの皆さま

【もぐもぐさぽーたー協力企業】

- ・大萬(株)
- ・(株)テンヨ武田
- ・(株)はくばく
- ・長野メディカルフーズ(株)
- ・チョーコー醤油(株)

ボランティアはじめて講座

＜7月29日(土)実施＞

ボランティアに興味のある方や始めてみたい方を対象に“ボランティアはじめて講座”を開催しました。

基礎知識や活動紹介の他に、今年度は地域で実際にふれあいサロンの運営活動をされている方から、取り組みや世代を超えた多世代間の交流の様子を教えてくださいました。

受講者からは「和やかで楽しみながら参加出来た」「ボランティアを始めてみたい」といった感想が寄せられました。



ボラくま



第67回

飯田市社会福祉大会

令和5年度

地域福祉活動推進研修会

ともに生きる
ともに創る
地域共生

日時 令和5年 12月9日(土) 13:00~15:20

参加方法 集合形式 鼎文化センターへの来場

配信視聴 YouTube動画での視聴
※大会終了後も視聴可能

いずれかの方法で
ご参加ください

プログラム

福祉大会 13:00 式典 (表彰・祝辞 等)

研修会 13:45 発表 シンポジウム

◆講師・コーディネーター

沖 弘宣 (おき ひろのぶ) 氏

元飯綱町社会福祉協議会事務局長
曹洞宗大本山永平寺で修行後、龍洞山松雲寺で修行。
1989年三水村社会福祉協議会に入職し、福祉活動専門員として活躍。
2004年同社協事務局次長、2006年社協の合併に伴い飯綱町社会福祉協議会事務局次長、2012年事務局長。
2019年同社協を退職し、現在、龍洞山松雲寺住職。社会福祉士。



◆発表地区等

座光寺地区:健康福祉委員会

松尾地区:健康福祉委員会

南信濃地区:やらまい会

(福祉活動応援事業助成金活用団体)

15:20 閉会

会場受付では
フードドライブ
を実施します



主催 >> 社会福祉法人 飯田市社会福祉協議会 後援 >> 飯田市

お問い合わせ先 >> 飯田市社会福祉協議会 総務課

☎ 0265-53-3040

HP <https://iidashakyo.or.jp>

